

630313

機密
第 9162 號
13.11.19

外秘第一三二三號

大正十三年十一月十八日

敬告視總監 太田政弘

亞細亞局

第一課

太

綴込名

外事課



内 務 大臣 若槻禮次郎殿
外務大臣 田代三喜重郎殿
指 定 廳 府 縣 長 官 殿

李烈鈞ト国民党支部員トノ關係

曩、李烈鈞滯在中ハ屢々国民党東京支部員ト會合
何事ヲカ協議シ其ノ間国民党員等ハ既報ノ如ク極秘裡
ニ鉄血救國團ナルモノヲ組織シテ極力汪公使、岳中將其ノ他
直隸派ノ攻撃宣傳ニ努メ暗中飛躍ヲ試ミタルノ之ニ関シテ

ハ李烈鈞ヨリ相當運動費ノ支出ヲ爲シタル模様アリ其

ノ後李烈鈞ハ退京前去ル五月支部員中ノ有力者李
國琛、費哲民、湯志先、徐學埏等ヲ招キテ勞ヲ編ト當市將
来ヲ激勵シ金一千圓ヲ提供シタル事實アリ而シテ国民党
ニ於テハ之ヲ基金トシテ保存スルヲトシ會計主任雷日ノ手ニテ
銀行預金トセリ

尚ホ国民党東京支部ニ於テハ時局ノ變化ト共ニ党首孫
文ノ擡頭ニ依リ大ニ浩氣ヲ呈セル觀アリ近キ將來、於テ
東京ノ国民党支部ノ建物ヲ建造スベシト稱シウツアリ
右及申(通)報候

MT 161852 0451

MT 161852 0450

630314

門
6
山

大臣
次官

電信課長

亞細亞
歐米
通商
條約
人情
報事
會計
會社
文書
平和
條約
對支
文化

各參軍老
總

省

15/93 (10音) 上海發
本省着大正十三年十月三十日
幣系外務大臣 大田總領事

件名
綴込名
政務(海外)

江浙紛擾
盧永祥等本邦放棄

本邦幣在中朝野ノ名士ヨリ同情
ハ歡待ヲ更ケルニ次テハ
結果十月三十日當地出帆上海丸
ニテ本邦戸ニ赴キ及地方ニ救
在し本邦各方面ノ有力者ト親シク
見テ交換シタル上天津ニ赴ク
決定タル由李烈鈞ヨリ岡村中佐

通し通報アリテ一孫ノ本邦主
ナ余リ無意義ノモノタルニ以
方ニ執リ諸般ノ關係止面白カ
スニ付右然ニキ方面ニ傳テ
高一行ハ夫人ノ外李烈鈞載天
隨行九名合計十一名ナリト
支一轉電セ

MT 161852 0453

MT 161852 0452

630315

外 務 省

機 密
授 第 9277 號
13.11.22

特 外 務 省 第 五 三 號

亞 細 亞 局

第 一 課

大 正 十 三 年 十 月 十 八 日

福 岡 縣 知 事 柴 田 善 三 郎

内 務 大 臣 若 槻 禮 次 郎 敬
外 務 大 臣 幣 原 喜 重 郎 敬
海 軍 大 臣 東 郷 平 藏 敬
指 定 應 有 縣 長 官 殿

要 目 付

天 津 ヲリ 渡 来 支 那 商 人 談 話 圖 九 件

長 崎 市 大 浦 町 十 九 番 居 住

支 那 人 商 人

盧 伯 琴
當 六 十 四 年

右 者 去 月 十 六 日 天 津 ヲリ 管 下 門 司 入 港 ノ 商
船 長 沙 丸 = テ 渡 来 ノ 者 ナ ル ガ 視 察 スル = 左 記
ノ 通 リ

左 記

本 人 ハ 本 年 十 月 初 ヲ 長 崎 駐 在 支 那 領 事
ヨリ 吳 佩 孚 = 引 渡 ス ベキ 支 那 汽 船 華 甲 校 艦 引
渡 シ 爲 ノ 令 領 事 ノ 依 頼 ヲ 受 ケ 令 船 = テ 十 月 五 日
頃 當 港 出 帆 令 月 九 日 太 沽 着 令 十 二 日 吳 佩 孚
軍 = 引 渡 シ タ ル ガ 本 船 ハ 數 ヲ 月 間 門 司 港 = 碇 泊
ナ シ 居 リ シ 爲 メ 太 沽 海 軍 船 渠 = 於 テ 修 膳 ヲ ナ シ
令 所 = 於 テ 命 ヲ 待 テ 居 タ ル = 其 後 馮 軍 ノ 北 京 占
領 傳 ヘ ラ ル ヤ 吳 將 軍 ハ 之 = 憤 慨 シ 北 京 ヲ 奪 還
ス ベク 手 具 約 三 千 ヲ 率 テ 天 津 方 面 = 赴 キ タ ル ガ 時 已

MT 161852 0455

MT 161852 0454

REEL No. 1-0976

0259

630316

運レ且心團ノ關係上如何ト云爲ス後ハ廿九日狀ニ附リ
タルヲ以テ部下ヲ率ヒテ各地ヨリ陸路太沽ニ赴キ前
記軍甲板艦ノ外三隻ノ軍艦分衆セシ、芝罘ノ方面
ニ直レタルガ吳將軍太沽出發後各地ニ奉天軍
スル李景林軍ニ占領セラレタリ當時自分ハ太沽ノ
深幸務所ニ在リシ爲メ同軍ノ最重ナル取調ヲ受ケ
タルガ自分ハ日本居住ノ商人ニシテ令所勤務ノ友人訪
問ノ爲メ滞在セリト虚偽ノ陳述ヲナシ幸ヒテ許サレ
シ得タルニ船渠長官ハ逮捕サレ奉天軍司令部
ニ送ラレタリシガ奉天軍ヨリ太沽天津間ハ奉天軍ノ手
ニ占領セラレ令地方ニ於ケル直隸派田官妻ハ逮捕
ノ上後司令部ニ向ケテ護送セラルル者多キニ一般民心ハ
平靜ノ状態ニ復シ居レリ云々

右列東通報信也

MT 161852 0457

MT 161852 0456

REEL No. 1-0976

0260

630317

大臣
次官

電信課長



亞細亞 歐通 條約 人情 會計 文書 平和條約 對支文化

信
18343

平

神戸支
本名着

去十三号上月廿四日

夜四、五〇
九、〇三

幣原外務大臣

兵庫縣知事

孫文一行ハ本月中旬二時神戸入港ノ上海丸ニ
テ渡来神戸オリエニ乗ル。入り先本
月三十一日神戸出帆ノ上野丸
ニテ及津
遊々迄当地ニ滞立ノ豫定

大正四年壹月拾六日記録係接受

件名	
綴込名	あり

MT 161852 0458

REEL No. 1-0976

0261

630318

機密
第 9369 號
13.11.24

逕百字丁

外高秘第 七七一五號

亞細亞局

第一課

大正十三年十月廿七日

長崎縣知事

富永鴻

内務大臣 若槻禮次郎殿
外務大臣 男爵幣原喜重郎殿
指定廳府縣長官 殿

孫文、北上ニ関スル件

本月十九日午前八時香港ヨリ上海經由當地
ニ入港セル汽船春洋丸、事務長佐々木憲
正、談ニ依ル孫文夫妻ハ左記ノ通り多數
ノ從者ヲ伴ヒ香港ヨリ春洋丸ニ乗船シ上海

ニ於テ李烈鈞、出迎ラ受ケ下船シタルガ全
地ヨリ海路天津ニ到リ更ニ北京ニ赴ク豫定
ナルヒ日ヲ洩シ居タル趣ニ付御参考迄及申
(通)報候也

記

文部大臣 汪 精 衛
秘書官長 章 耀 祖
廣東大學教授 陳 耀 祖
廣東教育課長 邵 元 冲
全 全 全 全 全 全 全 全
第三軍司令官 盧 錫 鄉

MT 161852 0460

MT 161852 0459

REEL No. 1-0976

0262

630319

外 全 全 護 全 參
十七名 衛 謀

張 黃 馬 卿 趙

乃 惠 參

(3) 恭 龍 湘 華 超

MT 161852 0461

REEL No. 1-0976

0263

630320

機密
第 9898 號
13.11.25

亞細亞局

兵外密第 2615 號

大正十三年十一月廿三日

兵庫縣知事 平塚 廣義

綴込名 物あり

第一課

内務大臣若槻禮次郎殿
外務大臣幣原喜重郎殿
指定各廳府縣長官殿

孫文來朝説ニ関スル當地在留支那人
ノ意嚮内查ノ件

孫文ハ天津會議ニ臨ムニ先テ本邦朝野ノ有力者ト
會見或種ヲ解ヲ求ル為メ本月二十一日上海滬ノ汽
船上海丸ニテ來朝神戸ニ上陸スヘキ旨一部新聞紙ニ掲

載セラレタルヲ以テ之ニ對スル在留支那人ノ意嚮ヲ内偵ス
ルニ支那目下政局ニ對スル孫文ノ地位ニ鑑ミ事大的觀
念ヨリ大体ニ於テハ之ヲ觀望スルノ意嚮ヲ有スルモノ、如ク
一部有力者間ニ來神ノ際觀望會ヲ開催セムトノ計畫アル
模様ナルカ廣東市ニ店舗ヲ有スル商人中ニ政府對商
團軍ノ衝突ニ依リ直接ノ損害ヲ蒙レル者モ尠カラザル
ト一面商團軍側ノ宣傳ニ依リ孫文ノ虐政ニ責既セル
者モ亦尠カラサルニ依リ何ノ顔アリテ孫文ハ在留同胞人
見エトスルヲト激語ヲ漏スモノアル状態ナルカ中國々民
党神戶支部長揚壽彭(本縣編入要視察支那人
ニ對シ脅迫的文句ヲ記入レタル別紙端書ヲ送付
ル者アリ孫文ノ來朝モ稍々確定トナルル今日萬一ヲ慮リ
相當警戒中ナリ
右及申(通報候也)

MT 161852

0463

MT 161852

0462

REEL No. 1-0976

0264

630321

日本郵政省
郵便局
記

市
居留地
揚壽彭
各縣廣

三
21
4-6

敬啓者前歲星期被以牙痛原動物園脫
出一隻患老虎奈至上海無可嚼饒為
病猶故走來日本神戶適遇有個二分二
養淨一隻水楊拉一隻肥山猪牽祥書
華全館而供其微之但病虎浮能
揚其威誠恐有毀手廟宇而惹
起一大向題為宜慎之

MT 161852 0464

REEL No. 1-0976

0265

630322

機密
第 9449 號
13.11.28

亞細亞局

高第 二六七三 號

大正十三年十一月二十五日

山口縣知事 三松武

山口縣知事



第一課

送名
要人

内務大臣若親禮次郎殿
外務大臣幣原喜重郎殿

敬言視總監太田政弘殿

大阪京都長崎兵庫

各府縣知事殿

支那人來往ノ件

中華民國稅務官

王少衝

MT 161852 0465

右、今回來邦ノ孫文一行中ノモ、ニシテ上海
東方公署社員部人成澤直助ヲ同伴本
月二十三日午後八時三十分着鐵道連絡船
ニテ長崎ヲ經テ來關直ニ第二列車ニテ
東京ニ向ヒタルが同入渡來ノ目的ハ實ニ視
察ノ爲メニシテ孫文、戴天仇、木子烈、鈞、行
ハ本月二十三日長崎發上海丸ニテ海路神戸
ニ向ヒタル旨語リタリ
右及申(通)報候候

MT 161852 0466

630323

9463 號
13.11.28

外高祕第 七七九八號
亞細亞局

大正十三年十月二十四日
長崎縣知事 富永鴻

富永鴻

内務大臣 若槻禮次郎 殿
外務大臣 男爵幣原喜重郎 殿
陸軍大臣 宇垣一成 殿
海軍大臣 財部彪 殿
指定廳府縣長官 殿
連大久保立田各事務官 殿

孫文一行寄港の件
孫文、本邦渡来ニ関シテハ本月二十日相當保

大正四年壹月拾六日記録係接受

護ノ上便宜供與スベキ旨警保局長ヨリ電
報アリ尚連事務官(貴官)ヨリモ寄港ノ
通電アリタルガ一行ハ昨二十三日正午當地入港
ノ汽船上海丸ニ神戸へ上陸スベク乗船寄港
シタルヲ以テ本縣外事課長及水上警官署
長出迎へ相當保護上便宜ヲ供與シタルガ
在港中上陸セズ今日午後五時出港ノ全船
ニ無異状神戸へ向ヒタルヲ以テ警保局長
及兵庫(貴)縣ハ電報レタリ一行ノ氏名及
當時ノ状況ハ左記ノ通りニ有之候條此段及
申(通)報候也

一行ノ氏名

記

MT 161852 0468

MT 161852 0467

廣東政府大元帥

孫文 三一九

廣東政府參謀總長陸軍上將

李烈鈞 四一五

大元帥副官陸軍大佐

馬惠隆 三三五

全參謀本部書記

陳虞青 三六

全秘書

周整 四

全高級參謀陸軍中將

耿鶴生 四〇

大元帥秘書長

戴傳賢 三六

高級參謀陸軍中將

俞詠謄 四〇

全參謀本部書記

曾勇父 三五

全太子副官陸軍少佐

黃芳池 三四

大元帥英文秘書

田賦均 三六

右行ノ渡来ニ関シテハ當地駐在支那領事館
及在留有力者ニ於テハ之ガ歡迎ニ付キ協議
スル處アリ全船ノ岸壁ニ着スルヤ郭領事
王副領事魏主事其他ノ館員(非公式)及
各團休幹部及有力者並ニ留學生等

MT 161852 0470

MT 161852 0469

630325

學生約三十名總テ支那國旗ノ手旗ヲ振翳シ
乘船之ヲ出迎ヘタルニ孫文ハサロンニ於テ之ニ面
接歡迎ノ辭ヲ受ケ學生一同ニ對シ謝辭ト
シテ中華民國創造以來既ニ十三年トナレリ
然ルニ其間教団内部ノ動乱アリテ國民未ダ
堵ニ安ンズルニ至ラズ今亦動乱政変アリテ時局
ハ收拾スル能ハサルノ状態ナリ之即ケ軍閥政治
ニシテ國民全体ノ政治ニアラサルガ故ナリ東洋ノ
平和ヲ望ミ東洋民族ノ幸福ヲ維持センニハ
日支親善ヲ圖リ國民政治ヲ行ヒ以テ我國
ノ統一ヲ圖ルニ在リト信ス余ハ是レヨリ天津ニ
渡リ北京ニ赴キ國民大會ヲ開キ紛乱セル時
局ヲ收拾統一スルコトニ努力スル者ナリ諸君

八目下日本ニ在リテ勉學シ居ル者ヲ以テ本ニ研
鑽怠ル處ナク學ヲ卒ヘテ國ニ歸リ我が國民
ノ模範トナリ大ニ國威ノ隆興ニ努力セラレ
ンコトヲ望ム云々ト述ベ尚當地留學生中
ヨリ近ク北京ニ於テ開催セラルベキ國民大會
ヘ總代トシテ幾名カ出席スルコトニ盡力アリタ
レト要望シタルモ學生等ハ之ニ對シ確答ヲ
為サズ今般甲板上ニ於テ一同紀念撮影ヲ
ナレタリ而シテ在留民ニ於テハ歡迎會ヲ
催ス筈ニテ孫ノ上陸ヲ懇請シタルモ雨天
ノ為メ上陸ヲ見合セ其厚意ヲ謝シタリ
船中ニ於テ一行中ノ大元帥秘書戴傳賢
(天仇)及高級參謀陸軍中將俞應麓

MT 161852 0472

MT 161852 0471

REEL No. 1-0976

0269

(詠膽)が孫文ニ代リ今次ノ渡来目的及支那ノ時局收拾策等ニ関シ本縣査証官ニ為シタル談話ノ大要左ノ如シ

孫文今回旅行ハ天津ニ於ケル巨頭會議ニ列席、為メニテ實ハ上海ヨリ直接天津ヘ渡航ノ旨ナリレモ目下同地行ノ鐵路順調ナラサルヲ以テ汽船ニ據リレト日本ヲ經由セバ巨頭會議ニ列席ニ先ケ日本朝野ノ士ニ就キ支那ノ時局ニ関シ意見ヲ聽取スルコトヲ得、キヲ以テ本旅程ニ據リタル次第ニシテ神戸ニ孫文ト曰知ノ間柄ナル犬養毅氏其他多數ノ知名ノ士ト會見シ得ラル、ヲ以テ今回ハ進ムテ政見ノ發表ヲ避ケ專ラ貴國朝

MT 161852 0473

野ノ人士ノ意見ヲ聽クコトニ努ムル等ナリ孫文ノ抱懷セル支那ノ時局收拾策トシテ既ニ廣東及上海ニ於テ屢次聲明シタル通りニシテ即ケ軍閥ヲ倒シテ民族民權民生主義ヲ基本トシテ獨立自由ノ國家ヲ建設シテ從來各派勢力カニヨリテ龍土断セラレタル國民ノ權利々益ヲ國民ニ皈セシメ對外政策トシテハ一方不平等條約及特權ヲ取消シ列強ヲシテ外債ヲ利用シテ支那ヲ植民地的地位ニ置ク能ハガラレタルニアリ現下支那ニ於ケル緊要問題ハ内政ヨリモ外交ニ在リ辛亥革命以來既ニ十三年ノ長年月ヲ経タルニモ不拘混亂ニ次グニ混亂ヲ以テシ

MT 161852 0474

平和ノ時ナキ原因ハ國內ヨリモ寧ろ口國外ノ教唆ニ因ル處多ク之ナカリセバ恐ラク斯ク内乱ノ續出スルコトナカルベシト信ズ近ク廣東ニ於ケル商團軍ノ武器事件又ハ今回吳佩孚ノ武力統一計畫ノ如キ全ク列強ノ意思ニ動カサレタルニ因ル故ニ將來ハ絶對ニ外國ノ干涉ヲ排斥セントス今回天津ニ赴クモ孫文トシテハ直接政權ヲ握リ國政ヲ處理セントスル意思ヲ有セズ只國民ノ地位ニアリ國民ノ代表者トシテ其利益ヲ為メニ其抱懷セル理想ノ實現ニ努カスル考ニシテ茲半ケ年若クハ一ケ年位ハ北京ニ止マリ廣東ニ皎ルコトナカルマレ廣東ニハ譚延愷ヲシテ統治ヲ任ニ

MT 161852 0475

當ラレメ居ルヲ以テ後顧ノ憂ナシ吳佩孚ハ最近長江聯盟ヲ策シ北方ニ對抗セシトノ計畫ヲ為シタル如キモ長江各省トテ目下ノ情勢ニ於テ斯ル計畫ニ應ズル答口ナク況シテ安徽江西ノ兩省ガ全然離反シテ中央ヲ遮断セラレタル今日ニ於テ到底實現スル事覺京ナク結局當分蟄伏ノ外ナカルマシ云々

岸壁着船後全船サロンニ於テ秘書長戴天仇通譯ノ下ニ往訪ノ各新聞記者ト會見シ歡迎ニ對スル簡單ナル謝辭ヲ述ベタル後新聞記者ノ質問ニ對スル應答ノ要領ハ

MT 161852 0476

問答 問答 問答 問答 問答

神戶ニ於テハ主トシテ如何ナル人士ニ會見
セラル、答ナルヤ
全地ニハ旧知多キヲ以テ之等シ人ニト會
見スル答ナリ
支那大局收拾ノ首班者ハ段祺瑞ナ
リヤ
然リ段ニ依リテ處理セラル、答ナリ
最近貴國ノ共同管理說流布セラ
ル、ガ貴說如何
安貞現セザルマシ
北京ニ於テハ外國ヨリ一億円ノ借款成
立セリトノ噂アリ事安貞如何
然ル事安貞ナシ

MT 161852 0477

問答

現在ノ状態ニテ借款ノ必要ナキヤ
必要ナシト認ム
我國ノ政治ハ國民全体ノ力ニヨリテ之ヲ
處理スベキモノニシテ決シテ一部政治家
及武人ノミニ依リテ處理スベキモノニアラズ
故ニ内ニ軍閥ヲ倒シ外諸外國ノ
干涉ヲ排斥ス國內政治ヲ行フニハ
廣ク國民會議ヲ起シ各方面ノ代
表者ヲシテ政治問題ニ參與セシム
其理想ハ現下ノ貴國ニ於テ安貞行
セラル、見込アリヤ
無論安貞行セラル、キ信念ヲ有ス
我が國ニ於テ十数年前清朝ヲ打

MT 161852 0478

問答

無論安貞行セラル、キ信念ヲ有ス
我が國ニ於テ十数年前清朝ヲ打

問答問

破前ニ於テハ日本其他ノ諸外國殊ニ
 國內ニ於テモ之ヲ安貞現レ得ベシトハ
 信ゼザリキ然ルニ事實ハ雄辯ニ之
 ヲ証明ス今田ノ直隸派タル一大軍閥
 ヲ外シタルモ國民ノ力ナリ將來ニ於テモ
 軍閥ハ必ズ國民ノ力ニヨリテ倒サルベキ
 モト信ズ一國ノ政治ハ軍閥其他外
 國ノ力ニヨリテハ處理セラルベキモノニアラ
 スレテ安貞ニ國民ノ力ニヨリテノミ處理
 セラルベシ斯クアラザレバ平和ハ来ラス
 清朝ノ禮遇廢止ハ當然ナリヤ
 全國民ノ望ム處ナリ
 統一策如何

MT 161852 0479

問答問 答

國民會議ヲ起シ諸般ノ政事悉
 ク其決議ニ依リテ行フニアリ
 其形式如何
 予ノ宣言書ノ通り
 近時廣東政府ハ親露ニ傾キ既ニ
 或ル制度ノ如キ彼レニ倣ヘルモノアリト
 ヲフ事實如何
 露支兩國ハ其ノ革命ナル事安貞ニ於
 テハ等シキ道途ヲ進ミタリ兩國ノ國
 際關係以外ニ於テ共ニ革命ヲ道
 理一致ス然レモ兩國ノ政策ハ各々其
 ノ國柄ヲ異ニスルヲ以テ之ヲ同ウセス
 然ラバ將來如何

MT 161852 0480

問 答

(答へス)
直隸ノ背後ニ英米ノ力潜メリト
云フ之ヲ認ムルヤ

余ハ日本ノ維新ヲ以テ第一歩トシ
支那ノ革命ヲ以テ第二歩トス從ツ
テ此考ヨリシテ露國ノ革命ト民國
ノ革命トヲ同一ノ感想ヲ以テ見ルガ
故ニ此意味ニ於テ勞農露國ト中
華民國トガ一致スルヲ得ルモノナリ然
ルニ日本ノ國民ガ日本ノ維新ト中
華民國ノ革命トヲ同一ニ看做セザル
ハ誤謬ナリト思惟ス云々
最後ニ孫ガ喫煙室ニ於テ代議士西岡竹

次郎ト戴天仇ヲ依レテ會見シタル孫ノ談話
ノ大要次々如シ
現下支那問題ヲ解決スルニ其根本問題
ヲ解決スルニアリ根本問題トハ何ゾヤト云
フニ即チ亞細亞民族ノ結合之ナリ亞細亞民族
結合シテ歐米人ノ壓迫ヲ排除シ初メテ支
那現下ノ問題ハ解決スキナリ日本ハ明治
維新ニヨリテ鎖國ヨリ開放シテ歐米ノ文明
ヲ吸收シ日露路戦争ヲ前送ハ非常ニ歐米
ニ屈從シタルモノナルガ日露路及独政ノ戦役ヲ
経テ五國又ハ三國列強ト比肩シナカラ今
尚ホ一ニモ欧米ニニモ欧米ト餘リニ歐米ニ
媚ビ過ギ亞細亞ヲ度外視シ過ギタル結

MT 161852 0482

MT 161852 0481

果ハ到底政米壓迫、亞羈絆ヲ脱スルコト
 能ハサルベシ故ニ將末日本ハ亞細亞民族聯
 盟、亞朝者トナリ政米ニ對抗スベク亞細亞
 全体ヲ聯結シ亞細亞ノ獨立ヲ圖リ以テ歐
 州ノ壓迫ノ羈絆ヲ脱スル様奴メサル可シ
 亦日本ハ須ラク勞農露路國ヲ速カリ兼
 認スベシ佛國ノ如キハ旧帝政露路國ニ於ケル
 巨額ノ國債ヲ抛棄シ他ノ列強ニ先シ勞
 農露路國ヲ兼認シタル其意奈辺ニアルカ
 目下、日本ハ財政窮乏ノ秋ナリ一日モ早ク勞
 農露路國ヲ兼認シ國際關係ヲ円満ナ
 ラシケルハ最モ焦眉ノ急ナレバ貴下ノ如キ日
 本要路ノ代議士等相謀リ政府ヲ上督勵

シ露路國兼認ノ速カナラムコトヲ圖ラレヌシ
 云々

追テ一行中ノ俞應麓、耿鶴生、曾三勇
 父ハ當聽差廻シ、自勳車ニ外事課長
 ト同業諏訪神社ニ参拜市内見物ヲ為
 レタリ

尚李烈鈞ノ曳セル處ニ依レバ孫文、日本立
 寄ノ可否ニ付上海ニ於テ打合會ヲ開キ
 タルニ此際日本ニ立寄ルハ英米ノ對支感
 情ヲ害スルナキヤヲ慮シ反對説ヲ唱フ
 ル者アリモ孫文ハ英米ノ氣嫌ヲ規フノ
 要ナレトテ今田ノ渡来ヲ断行シタルモ
 テ渡来ニ際シ上海ニ於テ英國汽船エム

MT 161852 0484

MT 161852 0483

630332

レス、オウルシヤ
ニ兼船方ヲ從心
ク之ヲ断リ連絡船
ニ兼船シタルモ子リ
（十一月廿四日長崎入港）

MT 161852 0485

REEL No. 1-0976

0276

630333

機密
受第 9470 號
13.11.28

亞細亞局
兵外 兵部 第二六二九號

大正十三年十一月二十五日

兵庫縣知事 平塚 廣義

内務大臣 若槻禮次郎 殿
外務大臣 幣原喜重郎 殿
指定廳府縣長官 殿
連内務事務官 殿

大正十三年 壹月 拾六日 記録係 接受

孫文來朝ノ件

孫文及夫人 參謀長李烈鈞 副官馬湘 全黃惠隆
中將俞應林 書記陳康青 全鰲山 秘書耿鶴生
全戴天化 及從者四名ノ一行、本月二十四日午後二時

神戸入港ノ汽船止海丸 幸來朝ニ於ルカ 孫ハ船中ニ
於テ訪問ノ新聞記者約三十名ニ對シ 戴天化ノ通譯
ニテ大要ヲ如キ談ヲ為セルカ 午後三時半上陸 當廳
差廻シノ自働車ヲ神戸オリヨリニナルホテルニ入リ(李
烈鈞 耿鶴生 周鰲山)三名 洋室ヲ好マス トテ 梁町
一丁目ノ田中屋旅館ニ投宿セリ 滞在申ナルカ 本月
三十日神戸入港出帆 予定ナル汽船北鎮丸ニテ天津
ニ向テ出帆スル 予定ナリ 而シテ 本日 孫文來朝 龍
對スル 当地在留支那人ノ 意嚮 内查 資料 題ニ割
報セリ 如ク 当地在留廣東者人中 三 藩 團 隊 守 隊 係
三 藩 團 隊 守 隊 係 孫文ヲ 國賊 視シ 憤 滿 心 口 吻 漏 洩 者 數 カ ラ
其 中 橫 濱 市 民 以 下 萬 一 慮 一 特 別 服 務 官 官 殿
名 配 旁 身 邊 一 保 護 並 視 察 二 從 事 セル ヲ

MT 161852 0487

MT 161852 0486

了方一河着船、除、支那支那支那領事在留有力
 支那人支那小學校生徒、中國國民黨東京支部
 員(十七名)大坂商工界(五名)支那人約五六
 百名、衆議院議員吉島一雄高見之通、望月大
部、神戶商會、砂田重政、元代議士、岸野長和、菊
地良、神戶商業會議、議員、孫文、顧剛、井上謙
吉新、新聞記者等約百餘名、一行、埠頭、出迎、
中、支那人等、中國國民黨萬歲、歡迎孫總
理、中華民國萬歲等、旗、打、振、萬歲
萬歲、唱、知、了、氣、勢、了、揚、了、
高、後、文、本、月、年、八、日、縣、立、高、等、女、學、校、樓、上、放
了、神、戶、商、業、會、議、所、主、體、大、坂、朝、日、大、坂、每、日
兩、社、後、接、了、精、演、會、臨、了、大、西、細、五、個、題、了、題

レ一婦、諸、演、了、為、不、校、務、了、
 右及中、通、報、候、也、

余方末期、目的、政治的、及其、地、何、等、了、意、味、了
 有、七、天、津、會、議、三、赴、了、為、了、上、海、迄、來、リ、タ、ル、に、陸
上、の、交、通、社、船、海、路、亦、船、室、高、買、切、了、為、貴、國、了
經由、レ、力、却、了、近、道、了、リ、ト、考、ハ、タ、ル、力、放、了、リ、故
二、日、最、近、の、便、船、了、レ、道、者、也、二、滞、在、レ、東、京、二、一、赴、力、升
レ、考、了、リ、
 日支兩國、互に、提、提、了、了、了、道、レ、ハ、何、要、ア、ル、二、双、方
國民、の、良、し、理、解、セ、ル、所、レ、力、其、レ、方、法、二、就、了、了、不
意見、了、速、了、レ、二、先、レ、先、レ、以、點、二、對、ス、ル、諸、君、了、意
見、及、中、國、と、民、二、對、ス、ル、諸、君、の、念、想、了、聞、了、タ、シ

MT 161852 0489

MT 161852 0488

「此時大坂朝日新聞記者神尾茂立於此列
 余一個人卜天祥先生之結合、一西國親善、方
 法、約章、八國協約、均能之、繼之西國、本質
 的結合、東亞民族、存立、為、一、使、要、ナル、所以
 一西國、民、力、徹底、的、理解、ス、リ、高、貴、國、民、ニ
 對、ス、ル、感、想、ト、シ、テ、ハ、余、ハ、貴、國、ノ、相、互、的、勸、励、ヲ、見、テ
 最、モ、不、可、解、ト、ス、ル、ニ、シ、テ、孫、先、生、ヲ、初、メ、國、民、指
 導、ノ、地、位、ニ、在、ル、人、カ、ハ、我、等、捨、テ、不、可、定、レ、國、家、ヲ
 安、泰、ニ、保、カ、レ、シ、コ、ト、ヲ、希、望、シ、堪、ハ、ス、ト、述、テ、
 民國、建、立、以、來、十、三、年、勸、励、ニ、盡、リ、ニ、勸、励、ヲ、以、
 テ、ス、ル、ハ、之、民、國、ト、民、力、勸、励、ヲ、好、ム、カ、故、ニ、ア、ラ、ス、シ
 一、若、ク、列、強、カ、此、所、ニ、致、ス、リ、民、國、ト、列、強、ト、同
 一、歸、格、也、若、ク、條、約、實、ニ、不、平、等、極、ム、ル、ニ、

MT 161852 0490

ニ、シ、テ、此、不、平、等、條、約、ニ、リ、列、強、國、民、ハ、支、那
 内、地、ニ、於、テ、偉、大、ナル、勢、力、ヲ、巨、ク、其、利、慾、ヲ、為、
 一、一、部、隊、人、ヲ、使、喚、シ、テ、不、良、國、民、ヲ、煽、動、シ、テ、
 内、亂、ヲ、勃、發、セ、シ、ル、ニ、リ、此、條、約、ヲ、撤、テ、ス、ル、ニ、
 ア、ラ、ハ、レ、ハ、列、強、支、那、ノ、平、和、延、ビ、テ、吾、等、ノ、平、和、ヲ、云、ハ、
 カ、ラ、サ、ル、ナ、リ、

（此ノ條、英文、大、阪、朝、日、記、者、一、矢、某、立、テ、上、リ、以、陳、孫、先、生
 一、所、言、ハ、ス、レ、ト、テ、列、強、ノ、支、那、ニ、對、ス、ル、條、約、或、ハ、不、平、等、ノ
 點、モ、ア、ル、ハ、レ、然、レ、其、點、ニ、至、ル、ニ、就、テ、ハ、相、互、的、犠、牲、ヲ、拂、
 ハ、リ、遊、シ、テ、列、強、ノ、素、直、ニ、條、約、ヲ、撤、テ、ス、レ、ト、思、ハ、レ、
 一、ル、カ、ハ、三、對、シ、孫、先、生、ハ、成、功、ナ、リ、ヤ、ト、信、望、
 一、ス、リ、）
 民國、建、立、以、來、條、約、カ、不、平、等、ニ、シ、テ、吾、等、ノ、平、和、ニ、有、害、ニ、シ、テ、
 且、正、義、人、道、ヲ、反、テ、ス、ル、一、甚、重、大、國、體、實、ニ、認、ル、所、ナ、リ、

MT 161852 0491

最近華府會議ニ於テ各國が等シク之ヲ聲明セ
ルニ徴シテモ明白ナリ只之ニ反対スルハ自己ノ利益
ノ擁護上ヨリ計算シタル民國ニ在留スル一部列
強國ニ過キサルナリ

既ニ世界列強國ニ於テ正義人道ニ及スルモノト悟リ
而シテ隣邦日本ノ同情ト援助ヲ得ルニ於テハ不
平等條約ノ撤廃ハ易クナリ此莫ク莫ク
テハ日本ハ幸ニ三十ノ以前不平等條約ノ如何
ニ自國ヲ禍スルカニ付テノ體驗者ナリニ民國ノ同情
シ不平等條約ノ撤廃ヲ援助スル國ハ日本ヲ措テ
他ニ非ラサルナリ日本ハ其ノ對外國條約ヲ破棄
スルニ依リテ目前ノ小利ヲ失フカ如ク考ヘラレモ
決シテ然ラズ兩國ノ經濟的因盟ハ失フニ堪ヘ
ル信力

此利益ヲ日本ニ亦聞ハコトハ極メニ明白ナリ
日支親善東亞之民族ノ繁栄只此一途ニ繫
ヒナリ云々

MT 161852 0493

MT 161852 0492

630337

機密
受第 9469 號
18.11.28

亞細亞局

大正十三年十一月二十五日

兵部省 陸軍部 陸軍省

級込名

兵部省 陸軍部 陸軍省

内務大臣若槻禮次郎
外務大臣若槻禮次郎
指定廳長官官位

大正四年壹月拾六日記録係接受

（封印付）

孫文一行動（其二）

（訪問者一併）

既部如月平四身抗四時神才リニシタルナリ
ニ若者ナリ孫文一行動者、殺倒スルヲ慮リ
日、其身退下保護ニ為同士ナリ一室ニ事

孫文一行動

意接係

梁	黃	董	宮	菊	盛	張	木	山	井	命
誠	昌	野	崎	地	經	策	家	純	上	德
卿	長	天	無	良	臣	蒼	駒	三	謙	林
慶	知	饒	策	一	臣	蒼	駒	三	謙	林

MT 161852 0495

MT 161852 0494

尚平四日討問者、古島一雄、森田全造、石

田重政、各代議士、三ノ浦、就山、石、崎、留、而、談、し、多

川、之、十、日、又、同、日、午、後、六、時、頃、神、戸、市、山、本、通

一丁目、岩、野、路、國、人、リ、リ、ン、一、極、東、銀、行、監、査

役、訪、問、し、之、以、て、其、中、の、物、販、賣、場、監、査、官、リ、イ、松、方

一、為、孫、文、二、面、会、七、廿、九、日、无、知、し、下、上、一、談、し、聞、才

然、而、其、後、予、訪、問、人、レ、ト、予、立、止、り、テ、ク、ル、ル、日、人

一、孫、文、リ、一、面、会、係、及、其、訪、問、自、行、等、之、間、等、ハ

内偵中

二、五、五、一、奉、討、者、内、國、七、加、考、望、身、川、大、郎

神、田、正、雄、今、井、吉、雄、年、(一、年、著、士、法、博)、西、川、三、社

三、(神、戸、商、學、會、議、所、副、会、頭)、高、木、富、五、郎

大、澤、繁、一、銀、行、神、戸、支、店、支、配、人、(浪、次、子、代、理、人)

ト、シ、テ、(奥、村、龍、三)、神、戸、基、督、教、青、年、會、政、事、(

頭、山、満、(年、何、十、餘、歳)、孫、文、面、会、者、下、リ)、ニ、シ、テ

單、二、敘、高、予、表、其、心、過、才、不、心、訪、問、者、數、十、名

ニ、連、レ、ル、文、秘、書、等、二、故、予、代、理、而、会、シ、リ、

其、三、千、五、百、年、山、田、純、三、郎、ヨ、リ、東、京、村、下、杉、並、所

年、高、遠、寺、五、五、七、号、天、院、下、孫、文、氏、喜、喜、シ、テ、才、自、二、體、心

ニ、シ、テ、宜、漢、和、同、語、急、才、才、出、了、持、以、ト、打、雷、シ、又、同、日、十、夜

横、濱、外、八、三、九、シ、ヨ、ウ、志、看、リ、孫、文、氏、地、下、遺、體、カ、カ、ラ、藏、却、リ、為、シ、

奉、迎、不、レ、二、能、ハ、又、前、途、ヲ、被、不、レ、一、意、味、ノ、電、報、二、送、テ、持、三、

才、ノ、一、板、友、申、(百)部、候、也

時 務

官 崎 天
周 德 山
李 德 劍
馬 惠 湘
黄 惠 隆

MT 161852 0497

MT 161852 0496

630339

附屬書類添附

機密
受第 9471 號
13.11.28

亞細亞局
兵外務部第二六一五號ノ五

大正十三年十一月二十五日

兵庫縣知事 平塚廣義

内務大臣 若槻禮次郎 殿
外務大臣 幣原喜重郎 殿
指定廳村縣長官 殿

大正四年壹月拾六日記録係接受

孫文來朝說ニ對シテ在留支那人ノ意嚮
内查ノ件 (第二)

本件ニ關シテハ本月二十日附本報ヲ以テ既報ノ所当地
在留一部支那人齊起シテ(中國國民黨神戶支部長
楊軒鈞總團團長前田三三)神戶中華會館ニ

於テ孫文歡迎會ヲ開催セシトシ之ニ關シテ在留人ノ
意嚮ヲ探リシニ(一)当地廣東省人ニハ本年九月
廣東政村對商團軍ノ衝突ニ依リ其支店又本
店等ノ兵火ニ由リテ甚クシク損傷セラルルヲ以テ歡迎
暴政ニ出ツルモノト爲レ憤慨セシ折柄ナルヲ以テ歡迎
及村ノ者ニ對シテ心算ヲ爲シ本月二十二日及二十
三日迄三直リ神戶市南京所附近ノ人家ノ壁電柱
等ニ在記ノ如ク激越ナル文句ヲ記載セシ紙ヲ爲
シタルモノアリ不逞ト認メ直々ニ之ヲ撤去シ不目下
其ノ何者有嚴禁中ナルカ一團齊起者等ニ對シテ
王親ヲトシテ
孫文賊賊不自來神戶此等會黨ニ等シキ輩
中華會館ニ於テ反賊ヲ歡迎ル公決ヲ採ル我
中華會館ヲ汚辱セムトス此等ノ命ヲ取リテ以

MT 161852 0499

MT 161852 0498

予華僑ニ謝セシ世見陪セリ
 等ノ罪有追然ノ郵送スル者アリ奔趨者側ニ於
 テモ恐レテ為レ之ヲ中止セムトス者場所ヲ變
 更セムトス者及對テ者ニス之ヲ断行セムトス
 者等アリテ未ク議纏ラサル模様ナリ
 右及申(通)報候也

大正四年壹月拾六日 記録係接受

第一 (原漢文) 美濃型紙 墨字
 我同胞ハ種派野獸ノ如キ大賊孫文 歡迎ニ對
 中心告
 坪階近 日孫賊 坤戶ニ來ル消息有リ送ニ隨テ
 者ハ既ニ中華公報ニ於テ歡迎會ヲ開催ノ由
 然ルニ中華公報、公益機關ニシテ孫、如キ

MT 161852 0500

横暴極ニ政治ヲ行ヒ人民ヲ慘殺シテ愉快
 スル力如キ人道ヲ無視スル大賊、實ニ我等廣
 東者ノ公敵ナリ公益機關開クル會館ニ於テ
 迎會ヲ開クハ断然許サズ海ヒテ歡迎會ヲ開
 催スル放テ、文明(直接行動)ヲ以テ對抗ス
 先ニ聲明ス孫ノ如キ國家ノ大馬鹿者ニ、湯丸
 (彈丸)ヲ以テ對抗スルニアラサレハ我廣東者同胞
 ニ對テ相濟マズ今若シ我ヲ忘レテ孫ニ從テ
 ハ我廣東者ノ敵ニシテ且又全國ノ公敵ナリ故郷
 ノ恩ヲ諸君、速ニ反對ヲ起サントテ希望ス所警告ス

愛國除害團全體公開
 大正十三年十一月二十二日

在坤同胞諸君

MT 161852 0501

第二 (原漢文) 半紙型稍素紙墨書
 拜啓 海山岸通榮町一帯に於て貴公所發起トナリ
 孫文ヲ歡迎セントスト傳ヘラレ同胞間物議ヲ生ゼリ
 先般廣東難民救済の貴公所ノ發起スル所斯ク
 テハ頗ル矛盾セルヲ見ル
 吾人同郷者思フニ此頃同胞慘殺ハ金ク人道ニ及
 り行爲ニシテ廣東人ハ不俱戴天ノ仇ト爲ス今孫
 未神ヲ聞クヤ歡迎應ムトスルハ嘲々ト受ケルヲ
 免レズ如斯ハ固ク以克復ノ發起ナラ公尚理由アリ
 トスルモ貴公所ハ尙廣東同胞ハ代表セシ拘ラズ大
 勢ヲ察セズ却ツテ大歡迎會ヲ開キ破産車ノ
 行動アラントス恐ラウハ自今貴公所ノ志望失
 墜也、茲ニ特ニ忠告ス 諒察スル所アラハ幸
 (三)

MT 161852 0502

香山一都有志

廣業公所各位御中

(右貼紙ニ対シ更ニ无ク如キ貼紙ヲ爲ラズモアリ)

拜啓 貴公所ハ孫文歡迎ノコトハ聞知セラル所ナリ

右申上候

廣業公所

十一月二十日

第三 (原漢文)

半紙小片墨書

孫文ツテ孫逆賊ヲ殺サシ

名埠在由華人救国聯合會啓

MT 161852 0503

第四 (原漢文) 美濃罪紙約五枚接統墨書
急告同胞書

嗚呼悲慘哉我中華民國ヲ乱スモハ孫逆賊ノ為ス所ナリ孫賊ガ日本ニ来リ國ヲ賣ラントスルハ三歳ノ兒童モ能ク知ル所ナリ回想スル今年九月十六七八日六廣東廣州中繁華ナル西關ヲ忽然炭燬化セシメ放火セタル者六賞金ニ百元ヲ賞與セリ此レ商團ノ行為ニ非ラズテ孫賊ノ為シタル所ナリ孫賊ハ何故ニ斯ノ如キ慘心ヲ起スヌ之レ他ニアラズ新思想正共產主義ヲ實行セシメ我廣東人ヲ慘殺セシメ覺悟ナリ
近日新聞ノ報道ニ依テ人道ヲ無視スル孫賊ハ上海ニ於テ砲彈ノ御見舞ヲ受ケタルニ余未ダ殘念ヲ至リナリ尚野獸ノ如キ孫賊ハ上海九ニテ日本ニ来リナリ機會

MT 161852 0504

逸スヘカラス前日ノ恥ヲ知ラサル鄭○○(註總商會長鄭祝三カ)ガ發起トナリ孫賊ヲ歡迎スル由彼等ハ天地ニ許ス可カラザル國逆賊ナリ本團實ハ精神ヲ養ヒ國家ヲ救フ為メニ相當シテ方法ヲ實行スルナリ天年ハ吾人ニ下リタリ若シ孫賊ヲ論議スル者ハ利器ヲ以テ對抗スルナリ御注意ヲ乞フ尚孫賊上海ヨリ神戸ハ横濱長崎大阪へ到着ノ際我カ同胞ハ彼ニ面接セサルヲ勸告ス
船ノ乗降ノ際尤モ注意スヘリ先以テ聲明スルニシテ直ニ殺サレベシ

中華民五十二年甲子十月十日
救玉義勇團謹告

上海東京横濱神戸長崎大阪若手新會員

MT 161852 0505

630343

第五 (原漢文) 美濃型紙 墨書
 不平諸君、言モ一利アリト信スルモ、言論過激ニ失ス我等
 事ヲ為スハ宜シク遠大ノ計ヲ為スヘシ彼等ノ畜生
 等ハ暗ニ會議ヲ開キ名譽ヲ得ハカ為メ他日ノ攻
 撃ヲ省ス何等及対ナオモト思ヒ專慾ノ舉措ヲ
 為ス我等ハ方法ヲ以テ孫賊ニ對抗シ根本的ニ彼
 等ヲ葬リ去ルハ是痛快ナラス又是我廣東省ノ幸
 福ノミナラス又國家ノ幸福ナリ嗚呼死スルハ泰山
 ヲリ重ク或ハ鴻毛ヲ輕シ烈死名ヲ残スハ今ノ時ナリ
 慎シテ秘密ニ事ヲ謀ルヘシ

心アル者ヨリ

(五)

MT 161852 0506

REEL No. 1-0976

0288

630344

機密
受第 9512 號
18.11.29

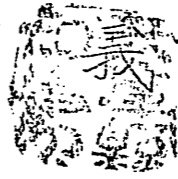
亞細亞局

兵外祭秘第369號三

大正十三年十一月廿六日

兵庫縣知事

平塚廣義



送込名 小津 啓

第一課

内務大臣若槻禮次郎殿
外務大臣幣原喜重郎殿
指定各廳府縣長官殿

大正十四年 壹月拾六日 記録係接受

神戸滞在中、孫文ニ脅迫状郵送

件

屢報、如ク当地在留支那中、廣東省出身商人
多ク從テテ同省ニ支店又ハ本店等ク有ル者ニ對
カシカニ關係上最近ニ於テ孫文ノ村商團軍態度

ニ痛憤者有リ、今回渡米ニ際シテハ概文ノ貼附算
依リ過激ナル及村氣力ヲ揚グル者ニハ状態ニ
孫文一行ノ身辺ニ村人ノ糾察ヲ著シテ相有保
護セシメ、且カ昨日神戶才主ニテハ孫文宛利紙
脅迫的書状ヲ郵送セル者アリ、内容ハ孫
文宛ニアラサルニ行爲者嚴標也
右及申込通報候也

MT 161852 0508

MT 161852 0507

孫賊ヲ歎述スル者ニ忠告ス

諸君孫賊カ廣東ヲ悲惨ノ運命ニ陥レ入レタハ周知
 事ナリ而モ之ヲ歎述スルハ同接ニ彼ノ横暴ヲ増大
 セシメ國ニ禍ヲ入ル者ナリ諸君如何ナル感想ヲ有シ
 如何ニ方法ヲ以テ我ガ廣東人民一般ノ公憤ヲ洩ス
 ヤ我ガ廣東ニ孫賊ヲ有スルハ不幸ナリ恥辱ナリ彼
 ハ惡政ヲ施シ人道ヲ無視シ冷酷ヲ人民ニ加ヘ眼中
 仁義人道ナシ我ガ廣東人民ノ孫賊ノ為ニ悲惨ノ
 運命ニ陥レリ

孫賊ノ唱フニ民主主義ト廣州ヲ燒キ南國ヲ解
 散シ人民ヲ苦しム事ナリ尚又共產主義ヲ宣傳
 シ苛政ヲ行ヒ路出ト共產條約ヲ結ビ王家ヲ廢止

MT 161852 0509

ニ陥レテ惜カス彼ノ暴虐昔ノ暴君ヨリ甚クシ
 實ニ人類ノ公敵ニシテ王家ヲ乱ス首魁ナリ張作
 霖馮玉祥カ吳佩孚ヲ倒シタルニ乘リ北江ヲ
 直ニ占領シ名譽ヲ貪リテ羞ツルヲ知ラス(中途不明)
 伍相繼テ脱離ス今諸君ハ盡ク廣東人ニ非スト
 莫モ亦同胞ナリ膚ヲ切ルノ苦痛カラム此ノ獠ヲ撲
 殺シテ後患ヲ免レン何スレゾ孫賊ノ走狗トナリテ
 被連セシトスルヤ諸君ノ妻女ハ猶恙ナシ諸君ノ財產
 ハ尚安全ニシテ幸禍ヲ蒙ルヲ得ニ而モ自己ノ生命ヲ
 顧慮セズレテ取テ被連スルノ勇アリヤ

民正十三年十月廿日

伏義鋤奸團駐日支新啓

孫中山契弟(馬鹿野老)

MT 161852 0510

630346

機密
受第 9514 號
13.11.29

要目付

亞細亞局
兵外務部第二二五號一三

大正十三年十一月二十六日

兵庫果紀車一平塚廣

内務大臣若槻禮次郎殿
外務大臣幣原喜重郎殿
指定之府果長官殿

大正十三年 壹月拾六日 記録係接受

孫文歡迎會ニ付スルカ解迫狀ノ件
孫文ノ来朝ニ際シテ歡迎會ヲ開催セラルト企圖セル
發起人等ニ對シテ解迫的ノ文書ヲ郵送シ又ハ及對
撥又ヲ賄附セル事ヲ件ニ就キハ屢依リ如クモカ更
ニ本月二十五日其ノ發起者一人ハ神戸總商會長ノ

MT 161852 0511

鄭祝ニ對シテ左記カ解迫狀ヲ郵送セルモノアリ且
下行爲者嚴輝申ナルカ發起者等ニ於テモ萬一
ヲ慮リテ中華會館ニ於テテ歡迎會ハ之ヲ見合
セ奉ルニ今日午後孫文ノ宿舎ナル神戸オリエタル
ホテルニ於テ神戸商會會所自華一俱樂部
物會支那領事館神設中華會館等合同
主催ニテ歡迎會ノ會ヲ開催スルコトニ決意スル模様
ナリ

右ノ件() 依修也

一ノ記
東ニ禍及ス者一即チ孫文ハ天地ヲ許サズ我
僥倖人ノ創瘡大ニ痛自憂深シ正ニ復讐也
一卜欲ス然ルニ汝等冷血動物ハ名譽ヲ獲ムカ爲

MT 161852 0512

630347

又彼ヲ歡迎セムト云誰カ止シ我ヲ困ニス事由毛爆水彈
ヲ制裁ヲ怖ルホラシヤ 故勸迎スルモ、姓名ヲ注
上梅若新聞ニ登載シ以テ醜名ヲ千載ニ留メ
ニ故等鉄拳ノ制裁ヲ防テ即時歡迎ヲ取消
サレバ於テハ故等身ヲ容ル所ナカラシ

鉄血傳

(原撰文)

MT 161852 0513

REEL No. 1-0976

0292

630348

機密
變第 9509 號
13.11.29

亞細亞局

兵外務部第二六九号一四

大正十三年十月二十六日

兵庫省知事 平塚 彦

第一課

綴込名 小野

内務大臣 若槻禮次郎殿
外務大臣 幣原素重殿
指定廳事務官 殿

大正十三年 壹月拾六日 記録係接受

孫文一行初 (其三)

孫文一行初 (其三)
孫文一行初 (其三) 訪問者ニ面接
シテ其ノ力本日本日一訪問者申孫文ニ面談シタル事
在リ如シ

代議士 井上 雅二

大正記者

鏡平 (名智太郎?)

木林 中

齊藤 孫四郎

華僑聯合會會長 代經

副會長

芳工部長

高華僑聯合會一派一行初

在 及 申 (通外信也)

内頃 中

部北 光

陳 錦 謙

楊 睦 鳳

MT 161852

0515

MT 161852

0514

630349

外秘第一四一九號

大正十三年十一月二十九日

亞細亞局

第一課

警視總監 太田 政弘

送名 栗津喜人

機密
受第 9609 號
13.12.1

内 部 大 臣 若 槻 禮 次 郎 殿
外 務 大 臣 岡 田 武 吉 殿
指 定 聽 府 縣 長 官 殿

知名支那人帰國ノ件

魏町區集町五安達方止宿

日十大出身

殷 汝 耕

右ハ本年三月上海ヨリ来リ對續キ滬京中雲南財政司々
長王九齡及李烈鈞等ノ渡来ニ関シテハ屢々往來斡旋スル所
アリシカ今回王九齡ハ教育總長トシテ就任ニ付殷ニ現政府
樞要ノ地位ニ就クコトニ内定セリ趣ニテ帰國準備中ノ處昨二十
八日午後七時二十分東京驛發列車ニテ神戸經由帰國ノ途ニ
就ケリ

右及申(通)報候

MT 161852 0517

MT 161852 0516

630350

機密
受第 9564 號
13.12.1

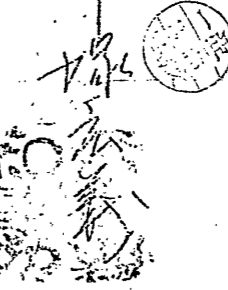
亞細亞局

第一課

英外務部第二六二九号ノ四

大正十三年十月二十七日

兵衛 官公事 平塚 義典



内務大臣 若槻禮次郎殿
外務大臣 幣原喜重郎殿
務官 麻村 長官 官收

壹月拾六日 記録係 接受

孫文歡迎会ニ対スル脅迫状郵送件
神戶商會會議員 日華商業協會 日華會館及
支那領事館合同主催ノ孫文歡迎会開催ノ企
ヲテル者既知ニ知右ニ関シ 神戶商會會議員
ニ於テハ各地ニ在ル日文人ニ案内状ヲ送リ 諾否

MT 161852 0518

1 通知ヲ求ムル力無通知中
馬房 孫文 神戶ニ着シ 密議ニテ 中露ヲ密セム
ト謀ル 吾國ニ遠カラズ 朝鮮ノ如ク 七國ニテ
ルニ 畜生共大会ニテ 孫文ヲ歡迎シ 共ニ合謀シ 共ニ
日本美人ヲ淫ス 神戶官變 孫文ヲ護衛セヨ 不
ラズレバ 賊孫文ノ生命危カラム (原漢文)
トノ文向テ 認メタルアリ 泰流人不明ナルニ 孫文ニ反
志ヲ抱スル在留支那人ノ 誘導ト認メタルノ 力在留支那
人ニ 對シ 案内状ヲ發シタルニ 十六名ニテ 内六名ニ 既
ニ 承諾シ 皆 逆送アリタルニ 同 孫十名 及其關係
者中ノ 何者カノ 誘導ト 認メ 嚴密中
詔及申(通知)候也

MT 161852 0519

630351

機密
受第 9600 號
13.12. 1

亞細亞局
外務第一二七一號

大正十三年十一月二十七日

大政府知事

中川 謹

小津 啓

内務大臣 若槻 禮次郎殿
外務大臣 幣原 喜重郎殿
指 定 旅 府 縣 長 官 殿

孫文未朝ニ對スル在留支那有力者ノ感想内便ニ関スル件

支那政局指收ノ為 天津ニ入ラントスル途次未朝セル孫文ハ 去ル二十四日 神戸港ニ着シタルヲ以テ 管下 在留支那商館ヲ代表シテ 高總會々長 張友深 外數名カ出迎ヘタルガ 主ナル 支那人ニ就キ 孫文未朝ノ感想内便スルニ 在ノ如シ

藍印付

十二月六日 記録係 接受

MT 161852 0520

清朝帝政ニ革命起リ 中華民國建設以來 茲ニ十三星霜 其間 支那ハ 動乱ニ次シ 動乱ヲ以テ 國民議會代議政治ハ 名ニシテ 其ノ 實政權ハ 各省督軍一手中ニアリ 全クノ 軍閥政治 氏力 平定主義 ナリシカ 孫文ハ 既ニ 泰西ノ 文化 思想ニ 回膺サレ 其ノ 政治的 抱負ハ 文明先進國ノ 夫レトシ 倣ハントスルモノナルガ 此政治的 手腕ヲ 發揮スヘキ 時機ニラサリシガ 今ノ 次ニ 奉 直 戰爭ニヨリ 久シク 政權ヲ 掌握セル 直隸派ノ 敗北スル 處トナリ 漸ヤク 安堵ノ 域ニ達シ 此際孫文ニ 好意ヲ 持スル 張 段 其他ノ 諸將軍ガ 孫文ト 共ニ 時局 指收 策ヲ 立テントスルモノナルガ 之ニ 先立テ 今人ガ 日本ニ 立テ 寄リタルハ 既ニ 新 安 殘 等ニ 示 辭 表 サレ 居ル 通リ 日本ニ 於ケル 朝鮮 諸 名 士ノ 意見ヲ 坐セムトスルモノナルハ 明カナリ 現下 支那ノ 狀 勢ヲ 見ルニ 恰モ 日本ニ 於テ 明治 初 年ノ 觀アリ 今ヤ 漸ク 動乱 平定 サレタリト云フモ 時 局ノ 安定ニ 関ス 何等 根本 方針ノ 確立ナク 軍政

MT 161852 0521

ノ廢止國民議會ノ基礎治外法權ノ撤廢其他幾
 多ノ重要問題ヲ解決セサルベカラズ 之ヲ解決スル
 文ノ如キ新進ノ政治家ヲシテ尚ラシムルヲ最適ナト
 認メラレ恐ラタ今人ノ手腕ニヨリ 時局安寧ノ曙光ヲ
 見出し得ルモノト相想像セラル
 更ニ今人ノ第一ニ東亞人種ノ種族的團結ヲ絶叫シ
 歐米白人種族ニ對抗セサルベカラズト強ク主張スル
 一人ニシテ支那が今日ノ如ク紊乱シ諸外國ノ一壁
 迫ニ若シラハツ、アルハ全ク國民ノ自覺ニシキニ
 因ルハ言フ後タサル處ナルが從來兎角日本ニ對シテ
 感情ヲ悪クシ對日政策ヲ誤レルヲ痛感シ居ル人ナ
 レバ 今後ハ之等ノ因襲ヲ打テ捨テ名實共ノ日支
 親善ヲ期シ相提携シテ其ノ主張スル處ノ東亞民族
 ノ聲譽ニ貢獻セントノ意圖ヲ勝ニ此矣之関シテハ既
 凡ニル機會ニ於テ新シク他ノ聲明サレ居ル次第ナル
 ガ 孫文ハ予而、亦ク日本ニ滯在シタルコトアリ日本
 ニ對スル理解ト好意ヲ有スル 孫氏ニシテ時局安

MT 161852 0522

定ノ劃策ヲ為スニ至ランカ 久シキ懸案タル日支親
 善ノ實ヲ擧ゲレハ誠ニ絶好ノ秋ナリト思惟サルト
 同時ニ日本ニ於テモ從來各種ノ行懸リヲ打テ捨テ
 眞ニ支那ヲ諒解シ何等ノ懸引ナク解放的ニ對
 支政策ヲ講セサル、ナラバ 必ズヤ折期ノ目的ヲ達
 成スルハ疑フベカラズ
 如斯ク 孫文ノ天津入りハ幾多重要ナル意味ヲ有
 シ且ツ 本人ノ為サントスル所ハ大ナルヲ以テ本人ノ政
 界ノ渦中ニ被スルコトナク一切ヲ假讓シ一任ニ自ラ
 ハ 野ニ在ツテ諸外國ノ打撃等ニ奔走シ外部
 ヲリ 内政ノ助力ニ努メントスルモノナリトノ意嚮ヲ有
 セルガ如シ
 以上ノ理由ニヨリ 孫文ノ天津入りニハ大ニ期待ス
 ル所アリ 吾々 在場人間ニ於テハ今ノ四ノ支那時
 局 推後ニ関シテハ多大ノ囑望ヲ有スル次第ナ
 リ云々

T 161852 0523

右及申(通)報候也

630353

機密
受第 9583 號
13.12. 1

亞細亞局
兵外昇秋第六五六號

大正十三年十一月二十八日

兵庫縣知事平塚廣義

内務大臣 若槻禮次郎殿
外務大臣 幣原喜重郎殿
指定廳村縣長官殿

二十一年壹月拾六日記録係接受

孫文ヲ訪問シタル要視察支那人
ノ行動ニ關スル件

警視(貴)廳編入要視察支那人

郝兆先

二十八年

右者華僑聯合會副會長陳錦濠同勞工
部長楊睦鳳、西人ト共ニ同會長林文昭ノ
代理トシテ本月二十六日突然當地「オリエンタル
ホテル」滞在中、孫文ヲ訪問シ約三十分間面談
シタル件、當日兵外昇秋第六五六號ノ四
「孫文ノ行動(其三)」ト題シテ既報セル所ナル右
ノ内「陳」楊「一」西名、同日午後八時七分三宮駅
ニ乘列車ニテ帰京シ「郝」ハ神戸市中山手通三
丁目尚志社(既報中國々民虎東京支部員
雷昂外三名、宿泊セル支那人ノ英語教授校
ナリ)ニ宿泊シ尚本邦當局ノ支那労働者取締ノ概
才運動方法關シ李烈鈞ニ面會協議スルハ既報アリト
シ翌二十七日午前十一時頃學研二十自由中屋

MT 161852 0525

MT 161852 0524

630354

旅館ニ本利釣ヲ討問シ夕暮「李」ナリ
 本名ニ亦同ホ
 ルノ孫文ノ許ニ赴キ不在ナリ
 為本名ニ亦同ホ
 ナリニ赴キタルカ「本」ニ面談スル
 機曾ナク「孫」ニ
 ナラフ午後九時頃迄「空」シ
 孫文事務始メ
 於「曹」ニ後帰宿「曹」
 高本朝「オ」エ「タル」由「田中屋」
 李烈鈞
 一尾多運廻レ居上「院」前中「面」面
 今「北」
 得ナリ「模」録「十」方「行」動「シ」
 續キ「視」察「中」
 右「及」伸「通」報「候」也

孫文ノ許ニ赴キ不在ナリ
 為本名ニ亦同ホ
 ナリニ赴キタルカ「本」ニ面談スル
 機曾ナク「孫」ニ
 ナラフ午後九時頃迄「空」シ
 孫文事務始メ
 於「曹」ニ後帰宿「曹」
 高本朝「オ」エ「タル」由「田中屋」
 李烈鈞
 一尾多運廻レ居上「院」前中「面」面
 今「北」
 得ナリ「模」録「十」方「行」動「シ」
 續キ「視」察「中」
 右「及」伸「通」報「候」也

MT 161852 0526

REEL No. 1-0976

0299

630355

機密
受第 9557 號
13.12.1

亞細亞局 第一課 左
兵外政司 第三六九 號
大正十三年十一月二十七日
要注者

兵庫縣知事 平塚 啓

内務大臣 若槻禮次郎 殿
外務大臣 幣原喜重郎 殿
指定能社局長 官 殿
貴知事 官 殿

大正十三年十一月廿六日 記簿係受

孫文ノ行動(其一四)

一、孫文ノ面会者(二十七日午五時迄)
研究会青木千蔵 代理
福原由力 副
地田男 副

頭山 滿ノ紹介ニテ
永島 忠 堂
寺島 天 園
曾田 定 祐
梅垣 長 二
松方 幸 次郎
頭山 滿

右ノ外 同日午後一時頃 東京 報 東京 支 局 記者 朝
鮮人 尹 洪 烈 氏 カ 孫 文 ニ 面 会 シ ン ト テ 兩 人 會 者
杜 絶 ス ル ヲ 決 意 シ 孫 文 ノ 多 分 面 会 セ ン ト
ト 認 ン テ 孫 文 ノ 東 亞 日 報 ノ 寄 稿
家 ニ シ テ 過 去 ヲ 査 討 ス ル 共 二 討 究 報 告 書
記 事 才 能 ハ ン ト 不 凡 一 二 年 決 定 怪 者 三 人
ニ 下 テ 大 二 報 告 書 呈 上

MT 161852 0528

MT 161852 0527

二未翰

瀋陽市東遼河海岸道

堀川 辰治郎

今市厚所一八三

松井 石根

豊橋市外高師村

杉山 吳藏

如三名一孫文苑封書

東京市山石川区林町九七

石場 敏一

如者一戴天純宛封書

如外七日午三時五分天津泰祥文苑

宛物(官報)一通到着也

五月廿六日記録係接受

如及申(送報候也)

MT 161852 0530

MT 161852 0529

630357

機密
受第 9635 號
13.12. 2

附屬書類添附

亞細亞局

兵外務部 第 2629 號

大正十三年十一月二十八日

兵庫縣知事 平塚廣義

内務大臣 若槻禮次郎 殿
外務大臣 幣原喜重郎 殿
指定之存果各長官 殿

十一月廿六日 記録係接受

孫文ノ行動(其ノ五)

神戸オリエニタルホリ滞在在牛ノ孫文、本日(二十)日ニ亦午前九時半ヨリ單身一室ニ在リテ訪問者ト面会セルガ午之州中ノ面会者左ノ如シ

満鉄社員 林正耕

角田陸郎

三上豊彦

北村隆光

川崎萬藏

遠矢平吉

岸一太

津下敏太郎

日本製油会社重役

右非朝鮮人協会東京本部総務係其土後岡

會長金東赫同副會長朴興奎(大阪市南区日

本橋五丁目)在阪朝鮮人兄弟會會長李善洪(大阪市

南区森阪下之町)三井物産船部部長長三

等面会云々其外ハ毛孫文ハ當日午後一時神戸

商業公會議所主催ノ講演會ニ出席ト事決定

MT 161852 0532

MT 161852 0531

REEL No. 1-0976

0302

リニ依リ執シ更ニ明日未訪ストテ歸去シリ
 尚昨報東亜日報記者朝鮮人尹洪烈ハ二十七日
 午後五時頃ニ至リ漸ク五分間約ノ面会ニノ何
 事ヲカ想フル所ナリトナリ
 孫文ハ本日午後一時ヨリ自動車ニテ市立ヨシキ
 既報ノ神戸商業會議所主催ノ講演會坊県
 立神戸高等女學校樓上ニ怪ニ同校生徒ニ對シ
 約四分間講演ヲ為シ後既ニ入口ニ該女掛合居
 カシ一般聴衆ヲ收容シタルニ二千ノ席ヲ有スル會坊ハ
 勿ケテシテ尚餘トナリ通路演臺等迄ニモ聴衆充
 滿シ尚續々ト該女掛合居有様ナルニ依リ更ニ同校
 兩女体操場ヲ第二會坊トシ約一千ノ聴衆ヲ収
 容シテ漸ク整理スルトトテ得タルニ依リ午後三時ヨリ

MT 161852 0533

孫文ハ先以第一會坊ニ赴キ戴天仇ノ通談ニノ簡
 單ニ挨拶ヲ為シ後第一會坊ニ臨ミ約三時
 間半ニ亘リ大要細問題ト題シ大要左ノ如キ講
 演ヲ為シ力ニ毎毎ニ拍手ヲ以テ迎ハラシ相書感
 動ヲ莫クタル模様ナリ
 尚屢々報リ如キ事情ニ鑑ミ本名ノ身辺ニ對シテ
 公道者ニ保護ヲ加タルカ右講演終了後異常
 カク其ノ旅宿ニ泊リ

MT 161852 0534



孫文ハ先以第一會坊ニ赴キ戴天仇ノ通談ニノ簡
 單ニ挨拶ヲ為シ後第一會坊ニ臨ミ約三時
 間半ニ亘リ大要細問題ト題シ大要左ノ如キ講
 演ヲ為シ力ニ毎毎ニ拍手ヲ以テ迎ハラシ相書感
 動ヲ莫クタル模様ナリ
 尚屢々報リ如キ事情ニ鑑ミ本名ノ身辺ニ對シテ
 公道者ニ保護ヲ加タルカ右講演終了後異常
 カク其ノ旅宿ニ泊リ

東洋の文化と平和

東洋の文化、平和地ナリ吾思、文化ハ悉ク東洋ニ其源ヲ及キセイルハナシ然ルニ其後欧米ノ文化亦達スルニ及ムラ東洋ハ漸次圧迫セラレ各國トモ協ム上独立國ノ實質ヲ失ヒ至レリ、今テヨリ三十年前國及ノ努力ニ依リテ日本ノハ漸ク不平等條約ヲ撤廢シテ完全ナル獨立國タルノ實質ヲ備フルニ至リタルニ其間他ノ諸國ニ至リテハ孰シモ依然トシテ欧米ノ殖民地タルノ域ヲ脱スル能ハザルナリ、而シテ東洋民族ハ四五十年前製造ハ如何ニ努力スレバ至テ到底欧米ニ及ハス上ニ自ラ諦メ居リタルニ日本ノ勃興ニ依リテ珠ノ白露戰争ノ大捷ニ依リテ黃種人種ニ尙自指人種

MT 161852 0535

示す所ニ依リテ當時余ハ恰モ巴里ニ在リテ日本海軍戰ノ報ヲ得タルヲ其ノ後巴里ヲ奈ニテ歸國ノ途中スエス運河ノ船中ニテエジプトノ語レ所ニ依リテ東洋ノ角ニ斯レ偉大ノ民族アリコトハ我々東洋民族トシテ在躍ノ至リナリ東洋民族ニ尙長ク歐州人ニ対抗シ得ルヲ悟リテ心強ク限リナリトシテ非常ニ満足ノ意ヲ表シ居タルヲ見テリ、如斯日露戰争ハ非常ニ偉大ナル而シテ心強ク漸ク動ク東洋民族ニ其ハ之ヲ動機トシテ又國就レテ獨立運動ヲ開始シ埃及土耳其ハ此レヤ皆之ニ成功シテ印度ノ獨立運動亦益々旺トナレリ是ニ喜テハ一現象ナルヲ專横ナ

MT 161852 0536

欧米ニ対抗スルニ尚更ニ進ムテ東洋民族亦大
 同團結セサルハカラス東洋ノ西部ニ於テ、近七二
 提携シテ團結ノ實質ヲ築ケツ、アルニ拘ラズ
 東部ノ日支ニ於テ尚本質的提携ヲ實現
 スル能ハサルハ余頗ル遺憾トスル所ナリ
 欧米人ハ亞細亞民族ノ覺醒ヲ目シテ吾人類
 ニ対スル反逆ナリトシテハ、以テ強ク力説セル者速
 利行セラル、ヤ白人間ニ争ツテ之ヲ辯護
 セラル、事實ヲ見テ余ハ東洋民族ヲ被征服
 的地位ニ置カトスルニ自哲人種ノ個性ナル事
 ヲ知リ
 欧米文化ハ大進歩セリ、人亦美之ヲ認ム然
 レモ其文化、物質的且ツ武力的ナリ之ニ反

MT 161852 0537

東洋ノ文化、精神の道德的ナリ、今ヨリ二
 年以前、五百年以前迄ハ支那ハ実ニ世
 界ノ最大強國ナリ、ナリ、而テ其ノ屬國モ亦
 夥カラシキカ、而テ其所以至ル原因ハ決シテ武
 力的征服的ニ屬セシメタ、其所以至ル各國力支
 那ノ文化ヲ慕フ、余則自ラ未服ニシテ、其ノ國
 其ノ實例トシテ、當時ノ屬國ナリ、ナリ、不
 其後英國ノ殖民的地位ニ立テ、支那ハ最モ弱國
 ト變ジ、今自迄モ英國ニ心服セズ、尚其支那
 ヲ祖國ト居ルニ見テ、如何ニ支那ヲ正義
 ノ國ナリ、カ、而テ如何ニ正義人道的、文化
 力ノ偉大ナルカ、知ル得、一面欧米ノ
 力征服的武力的ニテ全然感化力ヲ缺如セ

MT 161852 0538

オチ北洋海軍ナリ
 勿論我々南欧米ノ武力文化ニ劣ルハナルカ
 ナル多クノ必要ヲ感スルモノナリ然レ夫レ他
 國ヲ征服シ在迫セムトスレニテラスレテ正義人道
 的文化ヲ確立セムカナリ
 欧米ノ文化ヲ學ビテ最近大ニ進歩セシ國ニ東
 ニ日本ナリ西ニ土耳其ナリ土耳其ハ歐洲戰争ニ
 依リテ一時瓦解ノ状態ナリシモ國民ノ努力
 ニ依リテ遂ニ立派ナル獨立國トナレリ日本及土
 耳其我々東洋民族ノ信頼スルニ足ル勇敢ナ
 ル番兵ナリ
 ヲルニヤ、シヤム等ハ孰レ兵兵力ヲ養成シ得
 ル勇敢ナル國民ナリ而シテ東洋民族ノ数ハ

MT 161852 0539

十二億方ニシテ古東人ハ四分三ヲ算ス欧米
 人ノ數ハ僅カニ其三人カ一ニ過キモ三分一ノ國
 民カ一個ノ國民ヲ征服シ在迫ス如何ニ正義人道ニ
 及スルモノナレカノ相辨ナシ證在ナリ
 欧米人ハ單ニ有色人ヲ在迫スルノミナラズ亦自國國
 民ヲ在迫シ而シテ同人種中正義人道的覺醒スル國
 ナラバ他國團結シテ之ヲ在迫スルナリ其例ハ魯ニ彼ノ
 露西亞ナリ露西亞國民ハ物質的武力的文化ノ誤ナ
 リシヲ覺リ豁然正義人道ニ赴クヤ仲業、有ニル
 方法手段ニ依リテ之ヲ在迫シテアルナリ
 我々東洋民族ハ互ニ一氣團結シテ此ノ專恣
 横暴ナル歐米人種ニ對抗セザルハカラサル
 ナリ云々

MT 161852 0540